

平成22年度  
あわらし教育委員会事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

平成23年11月

あわらし教育委員会

## 目 次

I	点検・評価について	2
II	平成22年度あわら市教育委員会の活動状況	3
1	教育委員会の会議開催等の活動状況	3
2	教育委員の活動状況	5
3	審議会等審議状況	9
III	平成22年度の教育委員会施策の取組実績	11
1	教育総務課事務の点検・評価	11
2	文化学習課事務の点検・評価	20
3	スポーツ課事務の点検・評価	25

## 1 点検・評価について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、公表することが規定されました。

あわら市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）の教育委員会の点検・評価を実施し、その成果をまとめたので公表します。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### あわら市教育委員会委員（平成22年5月12日現在）

	氏 名	任 期
委員長	手塚和典	H21.5.12～H25.5.11
委員（委員長職務代理者）	佐々木基之	H22.5.12～H26.5.11
委員	龍嶋 崇	H20.5.12～H24.5.11
委員	安田典子	H20.5.12～H24.5.11
委員（教育長）	寺井靖高	H19.5.22～H23.5.21

## II 平成22年度あわら市教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会の会議開催等の状況

- ・ 開催回数 12回
- ・ 附議事項 21件
  
- 4月定例会〔平成22年4月28日（水）〕
  - ・ あわら市教育委員会事務局組織規則の改正について
  - ・ 平成22年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置について
  - ・ 附属機関委員の委嘱について
  - ・ あわら市教育委員会委員長の選任について
  - ・ あわら市教育委員会委員長職務代理者の選任について
  
- 5月定例会〔平成22年5月24日（月）〕
  - ・ あわら市一般会計補正予算（6月）の概要について
  
- 6月定例会〔平成22年6月30日（水）〕
  - ・ 金津創作の森条例の改正について
  - ・ 吉崎資料館の譲渡について
  
- 7月定例会〔平成22年7月29日（木）〕
  - ・ 平成23年度使用小学校教科用図書の採択について
  
- 8月定例会〔平成22年8月27日（金）〕
  - ・ あわら市一般会計補正予算（9月）の概要について
  - ・ あわら市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告について
  
- 9月定例会〔平成22年9月30日（木）〕
  - ・ あわら市教育委員会表彰について
  
- 10月定例会〔平成22年10月28日（木）〕
  - ・ 職員の懲戒処分について
  
- 11月定例会〔平成22年11月25日（木）〕
  - ・ あわら市一般会計補正予算（12月）の概要について

- 12月定例会〔平成22年12月21日（火）〕
  
- 1月定例会〔平成23年1月27日（木）〕
  - ・ あわら市一般会計補正予算（第5号）概要について
  - ・ あわら市教育委員会表彰について
  
- 2月定例会〔平成23年2月24日（木）〕
  - ・ あわら市文化財の指定について
  - ・ あわら市一般会計補正予算（3月）の概要について
  - ・ 平成23年度予算主要事務事業について
  
- 3月定例会〔平成23年3月24日（木）〕
  - ・ あわら市文化財の指定について
  - ・ 平成23年度あわら市教育方針について

## 2 教育委員の活動状況

時 期	委 員 名	活 動 内 容
平成22年 4月 1日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教職員着任式
4月 6日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	幼・小・中学校入学式
4月 7日	手塚、寺井	県立金津高等学校入学式
5月 7日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第1回教科用図書採択坂井地区協議会
5月11日	手塚、寺井	為庶塾企画委員会
5月12日	佐々木、寺井	教育委員任命式
5月16日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第7回あわら市トリムマラソン
5月17日	佐々木、寺井	指導主事訪問（芦原中学校）
5月20日	龍嶋、寺井	指導主事訪問（金津中学校）
5月20日	手塚、寺井	県立金津高等学校育成会総会
5月24日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	坂井地区地教委連絡協議会総会
5月25日	手塚、佐々木、寺井	平成22年度福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
5月27日	手塚、寺井	指導主事訪問（吉崎小学校）
5月28日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教育委員学校訪問（1日目）
6月 1日	佐々木、寺井	指導主事訪問（金津小学校）
6月 2日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教育委員学校訪問（2日目）
6月 9日	寺井	指導主事訪問（細呂木小学校）
6月16日	安田、寺井	指導主事訪問（新郷小学校）
6月21日	手塚、寺井	小中連携教育推進事業第1回研究推進委員会
6月25日	龍嶋、寺井	指導主事訪問（北潟小学校）
6月28日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教育委員文化財巡回

時 期	委 員 名	活 動 内 容
7月26日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第1回為庶塾
7月27日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第2回教科用図書採択坂井地区協議会
7月28日	手塚、龍嶋、寺井	金津中国際交流派遣事業団二次選考会
7月28日	佐々木、安田	あわら市日中友好親善少年使節派遣事業二次試験
7月28日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	カヌーポロ世界選手権出場・スポ少全国大会出場選手激励会
7月30日	佐々木、寺井	第1回就学支援委員会
8月 1日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第45回金津中学校サマーコンサート
8月 7日	手塚	あわら市戦没者追悼式
8月17日	手塚、寺井	紹興市文理学院附属中学校歓迎夕食会
8月20日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第21回あわらカップカヌーポロジュニア大会
8月21日	手塚、寺井	第21回あわらカップカヌーポロ大会
8月21日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	芦原中学校文化部サマーコンサート
8月28日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	北潟湖畔観月の夕べ
9月 3日	手塚、寺井	県立金津高等学校体育祭
9月 4日	手塚、龍嶋、寺井	芦原中学校体育祭
9月 5日	佐々木、安田、寺井	金津中学校体育祭
9月11日 ～ 19日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	各小学校運動会
9月22日	手塚、寺井	中高一貫教育クラス制度選考検討委員会
10月 1日	安田、寺井	指導主事訪問（芦原中学校）
10月 2日	手塚	あわら市社会福祉大会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
10月 3日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第7回市民体育祭
10月 5日	手塚、寺井	指導主事訪問（本荘小学校）
10月 6日	佐々木、寺井	指導主事訪問（波松小学校）
10月13日 ～14日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	平成22年度東日本市町村教育委員会研究協議会
10月19日	龍嶋、寺井	指導主事訪問（金津小学校）
10月24日	佐々木	細呂木ふれあいまつり
10月25日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第13回金津中学校国際交流派遣団 壮行会
10月30日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第7回あわら市民文化祭
10月30日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	市功労表彰及び教育委員会表彰式
10月30日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第12回京都東山文化振興会 蓮如 の里文化公演 狂言「附子」「金津 地蔵」・箏曲「蓮如の風」
11月 4日	手塚、寺井	指導主事訪問（金津中学校）
11月10日	佐々木、寺井	指導主事訪問（芦原小学校）
11月11日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第47回全国小学校家庭科教育研究 会全国大会 福井大会（金津小学校）
11月16日	龍嶋、寺井	指導主事訪問（伊井小学校）
11月25日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第25次あわら市日本中国友好親善 少年使節団壮行式
11月25日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教育委員会表彰式
11月29日	安田、寺井	第25次あわら市日本中国友好親善 少年使節団出発式
11月29日	手塚、寺井	坂井地区教育委員会委員長、教育 長会議
12月 1日	手塚、寺井	中高一貫教育クラス選考制度検討 委員会

時 期	委 員 名	活 動 内 容
12月 4日	安田、寺井	第25次あわら市日本中国友好親善少年使節団解団式
12月19日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	平成22年度生涯学習推進大会
12月22日	龍嶋、寺井	学校給食センター運営委員会
12月27日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	第2回為庶塾
平成23年		
1月 9日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	平成23年成人式
1月10日	手塚、寺井	第28回B&G会長杯剣道大会
2月 3日	佐々木、寺井	第2回就学支援委員会
2月 7日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	国際交流事業派遣団報告会
3月 2日	手塚、寺井	県立金津高等学校卒業式
3月11日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	中学校卒業式
3月17日 ～ 18日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	小学校卒業式
3月24日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教育委員会表彰式
3月30日	手塚、佐々木、龍嶋、安田、寺井	教職員離任式

### 3 審議会等審議状況

#### 教育総務課所管

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
あわら市就学支援委員会	14	2	・園児・児童・生徒の適正就学について	審議	22. 7. 30 23. 2. 3
あわら市学校給食センター運営委員会	9	1	・給食センター運営状況について	審議	23. 1. 18

#### 文化学習課所管

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
あわら市社会教育委員会	15	2	・平成 21 年度社会教育事業報告について ・平成 22 年度社会教育事業計画について ・平成 22 年度社会教育事業報告について	審議	22. 5. 20 23. 3. 25
あわら市文化財保護委員会	10	2	・平成 22 年度文化財保護事業計画について ・あわら市文化財の指定について(諮問) ・平成 22 年度文化財保護事業報告について	審議	22. 4. 21 23. 3. 3
あわら市図書館協議会	10	2	・平成 21 年度事業報告、平成 22 年度事業計画について ・平成 22 年度視察研修	審議	22. 5. 28 22. 10. 22
あわら市少年愛護センター運営委員会	23	2	・平成 21 年度事業報告、平成 22 年度事業計画について ・平成 22 年度事業報告、平成 23 年度事業取組みについて	審議	22. 5. 19 23. 3. 23

スポーツ課所管

名 称	委員数	会 議 開催数	件 名	種別	年月日
あわら市体育指導委員会	25	12	・ 体育指導委員会運営について	審議	22.4.7
			・ 第7回トリムマラソンについて		22.5.6
			・ 平成22年度組織について		22.6.1
			・ 前期チャレンジ・ザ・ニュースポーツについて		22.7.6
			・ 北陸地区体育指導委員研修会について		22.8.3
			・ スティックリング研修会について		22.9.7
			・ 第21回あわらカップカヌーポロ大会について		22.10.5
			・ 市民体育祭について		22.11.2
			・ 後期チャレンジ・ザ・ニュースポーツについて		22.12.7
			・ 第51回全国体育指導委員研究協議会について		23.1.11
			・ みずといで湯の文化連邦スポーツ交流部会について		23.2.8
			・ 第7回市民ソフトバレーボール大会について		23.3.1
			・ 坂井地区体育指導委員会実技研修会について		
・ 第1回市民ドッジビー大会について					
・ ニュースポーツまつりについて					
・ HEECE 構想について					
・ 第8回トリムマラソンについて					
あわら市スポーツ振興審議会	15	1	・ 第73回国民体育大会開催希望種目について ・ 施設の有料化について	審議	22.7.21

### Ⅲ 平成22年度の教育委員会施策の取組実績

#### 1 教育総務課

##### 目標1：学校教育の充実

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
①新入学生体験入浴事業	新1年生が、保護者や友だちと一緒に自然の恵みである温泉に入浴することにより、思い出づくり及び愛郷心の育成を図る。	60千円 市内6旅館の協力を得て、小学校入学式当日、市内温泉に入浴する。	【成果】 入浴者数107組、260人参加率45.7%。 【課題】 入学式当日のみの入浴のため、旅館に協力を得て、土日を含めた期間を設定し、参加者を増やす必要がある。
②小学校バイオテクノロジー体験事業	県立大学施設での、バイオテクノロジー先端技術を体験することにより、児童の科学的興味・関心を高めるとともに、特産物である“越のルビー”への愛着を深める。	12千円 バイオテクノロジーに関する講義と“越のルビー”苗の組織培養体験を実施する。 波松小：4～6年・16名	【成果】 平成5年から実施し、18回目となり、バイオテクノロジーに関心が深まる。 【課題】 15名程度の施設なので、大規模校の参加ができない。
③スポーツ大好きっ子育成事業	放課後等に児童が楽しみながら体を動かす機会を設けることにより、児童の運動に対する興味・関心を高めるとともに、体力の向上を図る。	220千円 実践校：芦原小学校 種目：ボール運動、陸上運動、カヌー、なわとび等 日時：毎週月・金曜日の放課後 参加者数：約80人(高学年4, 5, 6年の約5割)	【成果】 異学年での活動により、以前と比較し学年間で縦のつながりが増した。 【課題】 県研究委託事業終了し、予算が無い中での事業の継続となる。
④学校給食畑設置事業	学校給食畑を設置し、野菜を栽培する農業体験を通して食育を実践する。また、自分が作った野菜を食材とすることで、食への関心を高める。	800千円 実践校：金津東小学校 近隣農家の協力を得ながら、農業体験を行い、収穫された野菜を給食の食材に活用した。	【成果】 農業体験を通して、食育の推進及び食への関心が高まった。 【課題】 夏野菜の苗植から収穫までの作業となり、全ての作業に体験活動の時間が取れない。また、夏季休業中の作業が教職員となる。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
⑤芦原中学校 日本中国友好 親善少年使節 団派遣事業	友好都市である中国紹興市の文理学院附属中学校との交流をとおして、国際理解教育と友好関係の推進を図る。	2,822千円 派遣団員 生徒16名・指導者4名 派遣期間 H22.11.29～H22.12.4 派遣先 中国紹興市文理学院附属中学校	【成果】 外国の文化に直接触れるとともに、国際交流の重要性が認識できた。 【課題】 芦原中学校は中国。金津中学校はアメリカへととなっているが、この垣根をなくし、どちらの国際交流でも参加できる仕組みが必要である。
⑥金津中学校 国際交流派遣 事業	生徒をアメリカに派遣し、ホームステイや授業の参加をとおして国際化時代に対応できる生徒の育成を図る。	3,433千円 派遣団員 生徒15名・指導者3名 派遣期間 H22.11.14～H22.11.23 派遣先 アメリカ合衆国オレゴン州ケリーミドルスクール	【成果】 外国の文化に直接触れるとともに、国際交流の重要性が認識できた。 【課題】 芦原中学校は中国。金津中学校はアメリカへととなっているが、この垣根をなくし、どちらの国際交流でも参加できる仕組みが必要である。
⑦部・クラブ 活動事業補助 事業	あわら市内中学校の部、クラブの活動経費を補助し、学校教育の充実向上及び青少年健全育成を推進する。	2,556千円 芦原中学校 1,065千円 金津中学校 1,491千円 部活動充実のための経費補助。	【成果】 中学校部活動の充実及び保護者負担の軽減が図られた。 【課題】 生徒数減少に伴い、部員数が揃わないなど問題が生じつつある。
⑧部・クラブ 全国大会等出 場補助事業	あわら市内中学校の部、クラブが全国大会等に出場するにあたって、出場に要する経費を補助し、学校教育の充実向上及び青少年健全育成を推進する。	948千円 《北信越大会》 芦原中学校 サッカー部 剣道部 吹奏楽部 金津中学校 卓球部 吹奏楽部 《全国大会》 金津中学校 卓球部	【成果】 中学校部活動の充実が図られた。 【課題】 生徒数が減少し、全国大会等に出場数が減少傾向にある。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
⑨就学援助事業	小学校及び中学校に就学する児童生徒のうち、経済的理由により就学困難と認められた児童生徒の保護者に対し、教育に係る費用の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。	(小学校) 5,232千円 準要保護 89名 (中学校) 5,593千円 準要保護 54名 要保護 1名 学用品・通学用品・新入学用品・修学旅行費・通学費・学校給食費の援助を行う。	【成果】 就学援助により、義務教育の円滑な実施が図れた。 【課題】 経済不況等の原因により対象の児童生徒が増加しており、制度の普及方法に課題がある。
⑩小中連携推進事業	小・中学校9年間を見通した学習指導・生徒指導等の円滑な接続による、一体性のある義務教育を実現する。 研究主題：「やる気、勇気、思いやりを態度に表せる児童・生徒の育成」－小・中学校9年間の学びと心の成長を図って－	500千円 推進地域：芦原中学校区(小学校5校、中学校1校) 指定期間：H20～3年間 推進体制：研究推進委員会－推進校連絡会議(校長・教頭)〔小中連携の方向性の検討・全体研修会や部会運営面の調整〕－研究部会 ①学習部会(国語グループ、算数・数学グループ、外国語活動・英語グループ) ②生徒指導(教育相談)部会 ③交流事業部会 ④家庭・地域連携部会 実施内容：坂井ブロック発表会、先進校視察、学習領域別系統表の作成、教員の交流(授業参観・出前事業)、中1の小学校訪問・中学校オープンスクール、体験授業、小小交流、あいさつ運動他	【成果】 学習指導：各教科における9年間を通じた学習系統表を作成した。 生徒指導：小中間での生徒指導上の指導項目について共通認識を持つことができた。 交流事業：オープンスクール、体験授業等により中学校入学に対する不安解消に繋がった。中学生にとっても、小学生のひたむきさなどを目にする事になり効果的であった。 家庭・地域：家庭における規則正しい生活に向けて、共通して取り組む項目を決めて取り掛かることができた。 【課題】 国・県指定の事業が終了し、予算が無い中での事業の継続となる。
⑪中高一貫教育事業	芦原中学校及び金津中学校が金津高校との間で、教員の相互乗り入れやチームティーチングをとおして学力の向上を図るとともに、部活動等の交流とおして、中学間、中高間の交流を深める。	0千円 平成22年度中高一貫教育連携クラス入級者数 芦原中学校 20名 金津中学校 23名 教科連携：金津高校と中学教員による国語・数学・英語科TTなど。 進路指導：高校の見学会、進路研修会の開催など。 教科外連携：部活動交流、学校行事交流など。	【成果】 中学校と高校の連携により、少人数クラスが図られるとともに、中学校間及び中高間の交流が図られた。 【課題】 平成24年度からの学習指導要領の改訂に伴い、金津高校との教科連携の授業時間確保に課題が生じる。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
⑫あわら為庶塾事業	あわら市教職員研修塾『為庶塾』を開講し、市内に勤務する教職員の意識改革を図り、教育向上を目指す。	251 千円 対象：市内全教職員 第1回 教育講話 (東京医科歯科大学名誉教授 藤田紘一郎氏) 第2回 実地研修 (金津創作の森体験) (市内企業訪問) (他の学校での授業視察) 第3回 教育講話 (福岡教育大学教授 小泉令三氏)	【成果】 学校から離れ、いろいろな角度からの研修で意識改革が図られた。 【課題】 教職員の多忙化の中、多くの研修を企画するのではなく、内容の濃い企画に絞る必要がある。
⑬あわら市教育研究会補助事業	各小中学校に勤務する教職員が、連絡を密にして様々な研究、意見交換などを実施することにより、学校教育の充実向上を図る。	595 千円 各部会による研修会・研究会・講習会を開催し、研究成果として部会だよりを発行する。	【成果】 あわら市教育活動の振興を図ることができた。 【課題】 新学習指導要領導入に伴い、研究課題が増加し、補助金の増額検討が必要である。
⑭市費講師等配置事業	多動性児童対応、複式解消、障害児介助及び学校生活支援のために、県費支弁教員のほかに講師並びに支援員を配置し、教育の充実を図る。	33,190 千円 複式解消 波松小 2 人 新郷小 1 人 吉崎小 1 人 多動児対応 芦原小 4 人 金津小 3 人 障害児対応 本荘小 1 人 細呂木小 1 人 学習支援 金津東小 1 人 司書・教科補充 芦原中 2 名 生活支援 芦原中 2 名 金津中 1 名	【成果】 市費講師の配置により、複式学級の解消及び児童生徒の支援体制の充実がはかられた。 【課題】 緊急雇用事業を利用して雇用していたが、事業の廃止に伴い、財源の確保が課題である。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
⑮子どもの安全を守るための情報システム委託事業	児童、生徒を不審者等から守るため、保護者への緊急メールシステムの整備を図る。	600千円 業者委託により、緊急メールシステムのメンテナンス及び充実を図る。	【成果】 学校と保護者間の緊急連絡の確保が図られた。 また、スマートフォン向けのサービスを開始した。 【課題】 希望者のみの配信となるため、全保護者配信に向け普及が課題である。
⑯小学校通学援助事業	遠距離通学児童に対し、スクールバスの運行及び通学費の助成を行うことにより、登下校の安全を図る。	通学支弁額 金津東小 10,678千円 細呂木小 3,302千円 金津小 1,371千円 本荘小 1,175千円 芦原小 71千円 合計 16,597千円	【成果】 スクールバスの運行により、通学時の安全が図られた。 【課題】 平成24年度からの地域交通体系の見直しにより、細呂木小、金津小、本荘小の再整備が必要である。
⑰中学校通学援助事業	遠距離生徒に対し、スクールバスの運行により、通学手段を確保する。また、公共交通機関利用生徒に要する費用を補助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。	通学支弁額 芦原中(SB) 13,097千円 金津中(SB) 12,826千円 金津中・錦城中 825千円 合計 26,748千円	【成果】 通学手段の確保及び保護者の負担軽減が図られた。 また、平成22年度から金津中学校にスクールバスが導入された。 【課題】 平成24年度からの地域交通体系の見直しにより、芦原中学校スクールバスの整備が課題である。
⑱幼稚園預かり保育事業	就労等により放課後自宅に帰っても保護者がいない園児に対して「預かり保育」を行なうことにより、幼児の心身の健全な発達を図り、もって保護者の子育てを支援する。	8,353千円 臨時職員賃金 6,030千円 園児おやつ代等 2,323千円 各幼稚園に指導員を置き、午後6時まで園児を預かる。	【成果】 放課後に園児が安心して過ごすことが出来る場所が提供できた。 【課題】 特別に支援が必要な園児に対する保育サービスが必要となっている。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評 価 (成果・課題)
⑱ 給食センター事業	生涯にわたって心身の健康と健全な食生活を送ることが出来るよう食育の充実を図る。	114,842千円 芦原地区 小学校 5校 104,181食 中学校 1校 59,468食 教職員 19,239食 試食 3,116食 年間給食日数 191日	【成果】 給食を配食することにより、食事マナーや食材に対する感謝の心を育む食育の充実が図られた。 【課題】 施設が老朽化しており、現在改築の計画を進めています。
⑳ 自校式給食事業	生涯にわたって心身の健康と健全な食生活を送ることが出来るよう食育の充実を図る。	85,016千円 金津地区 幼稚園 4園 28,384食 小学校 5校 180,501食 中学校 1校 89,024食 教職員 29,713食 試食 631食 年間給食日数 190日 ※食材費は、各学校会計で徴収しているため、含まれていません。	【成果】 給食を配食することにより、食事マナーや食材に対する感謝の心を育む食育の充実が図られた。 【課題】 施設が老朽化しており、現在給食センター化に向け計画を進めています。

目標2：心の教育の充実

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
① スクールソーシャルワーカー配置事業	教育分野の知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関とのネットワークを構築・活用して、問題を抱える児童生徒を支援する。	<p>スクールソーシャルワーカーが市教育委員会を拠点に市内小中学校、適応指導教室、関係機関を巡回し、活動を行う。要保護児童対策地域協議会に出席し、児童虐待等の防止のため、情報の共有と連携を図る。</p> <p>(県事業・配置1名)</p>	<p><b>【成果】</b> 教育部局と福祉部局をはじめ各関係機関の連携を深めることにより、情報の共有化と共通理解を図ること、また、相互の信頼感を基盤とした「協働」による支援体制を築くことができた。</p> <p><b>【課題】</b> 学校内においてSSWへの協力をえられやすい環境づくりが課題である。</p>
② 適応指導教室「いきいき教室」設置事業	指導員及び専門カウンセラーを配置し、問題を抱える児童生徒や保護者、教職員の相談に応じるほか、不登校児童生徒の早期発見・早期対応をはじめ、学校へ復帰を支援するためのさまざまな指導および支援を行う。	<p>3,599千円(特定財源：県委託金300千円)</p> <p>場所：芦原小学校内から、文化会館内へ移転</p> <p>常勤：指導員・兼ライフパートナー指導員1名</p> <p>非常勤：臨床心理士1名</p> <p>不登校の児童生徒に居場所を作り、本人の主体的な活動を大切にしながら、仲間作りや、学習援助、ライフパートナーとの交流等を通して、子どもが自立、学校復帰できるよう導いていく。</p>	<p><b>【成果】</b> 学校、子育て支援課、教育委員会等関係機関と連携をとりながら、問題を抱える児童生徒に対し、効果的に接することができた。完全不登校から通室を経て学校登校へと導くことができた。</p> <p><b>【課題】</b> 学校・家庭・関係機関との連絡調整をより深め、支援体制の確立が必要である。</p>
③ ライフパートナー配置事業	不登校など心に悩みや不安を持つ児童生徒に対して、児童生徒に年齢の近い大学生等(ライフパートナー)を、学校や適応指導教室等に派遣し、話し相手等になることで、不登校児童生徒の支援および不登校の未然防止を図る。	<p>238千円</p> <p>12人登録・活動</p> <p>・謝礼@720円/h 年間325時間</p> <p>・ボランティア保険加入</p> <p>各小中学校(幼稚園)等の不登校児童生徒・発達障害児の支援を行う。</p>	<p><b>【成果】</b> 児童生徒の勉強の手助けや話し相手や遊び相手になることで、適応できるよう支援ができた。</p> <p><b>【課題】</b> 学生と学級担任等の日常的な連絡や打合せが不足場合など、学生及び学校へのフォローが課題である</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
④子どもと親の相談員配置事業	<p>小学校における教育相談体制のあり方に関する調査研究。地域の人材を活用して「子どもと親の相談員」を小学校に配置し、不登校、問題行動等の早期発見・早期対応や未然防止を図る。</p> <p>(県事業・配置校： H20～H22 金津小)</p>	<p>「子どもと親の相談員」 金津小学校に1名配置 (元教諭) 週3日・35週 3時間/日</p> <p>校長の監督の下、児童の話し相手・悩み相談、家庭・地域と学校の連携等の業務を行う。</p>	<p><b>【成果】</b> 金津小学校の教育相談体制の中で、早期発見、早期対応等、効果的な役割分担ができた。</p> <p><b>【課題】</b> 学校内での連携をさらに深めることが課題である。</p>
⑤スクールカウンセラー配置事業	<p>児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識および経験を有する「スクールカウンセラー」を、配置することで、各学校における教育相談体制の充実を図る。</p> <p>(県事業・配置校： H15～ 金津中 H16～ 芦原中 H20～ 芦原小)</p>	<p>原則 35 週 金津中 週1回 8h/回 (年間 280h)×1名 芦原中 週1回 6h/回 (年間 210h)×1名 芦原小 週1回 3h/回 (年間 102h)×1名</p> <p>校長の監督の下、児童生徒へのカウンセリング、カウンセリング等に関する教職員および保護者に対する助言等の業務を行う。</p>	<p><b>【成果】</b> 問題を抱える児童生徒や保護者に対し専門的な援助ができた。 スクールカウンセラーと教職員とのチームによる児童生徒への支援体制を構築することができた。</p> <p><b>【課題】</b> スクールカウンセラーの活用について周知し、児童生徒、保護者、教職員の利用を促すこと。時間的制約がある中で、保護者面談や教職員との情報交換の時間を確保することが課題である。</p>

目標3：学校施設・設備の整備

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
①環境・エネルギー設備事業	環境・エネルギー教育について地域の特色に応じた実践を通して、児童生徒の理解を深め、自らの考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成する。	資材・機材の活用研究 807千円 補助対象校 芦原小学校他7校、 金津中学校	【成果】 資材・機材を活用した実験により、電気を身近なものとしてとらえ、仕組みもわかりやすく、意欲的に学習に取り組む等教育向上を図ることが出来た。 【課題】 環境・エネルギー教育を推進するためには、学習をとおして、日常生活の中での意識付けが必要である。
④小学校整備事業	児童が安心して学校生活が送れるよう、耐震補強工事を行い学校施設の耐震性を確保する。	(平成22年実施事業) 1,142,073千円 芦原小学校南校舎 北瀧小学校校舎 (幼稚園含む) 本荘小学校管理棟 金津小学校北・西校舎 (幼稚園含む) 伊井小学校校舎 (幼稚園含む)	【成果】 すべての耐震補強工事が完了したことにより、耐震化率100%となった。 【課題】 プール、老朽化した校舎等の施設の早期改修が課題である。
⑤中学校整備事業	老朽化の著しい中学校施設を耐震補強及び改修工事を施工することにより、教育環境の整備を図る。	(平成22年実施事業) 2,312,203千円 芦原中学校仮校舎(H22) 芦原中学校北、南校舎 芦原中学校体育館 金津中学校仮校舎(H22) 金津中学校北、南校舎 金津中学校体育館	【成果】 すべての耐震補強工事が完了したことにより、耐震化率100%となった。 【課題】 グラウンドなど、老朽化した校舎以外の施設の早期改修が課題である。

## 2 文化学習課

目標：生涯学習・文化振興の推進

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
①公民館事業	市民の学習ニーズに対応するため、だれもが気軽に参加でき、生きがいつくりにつながるような学習機会を提供し、自主的に活動の継続・充実を図ることを目的とした環境づくりを目指す。	3,209千円 定期教室および短期講座（開講する内容を選考して随時開講）を実施した。伝承遊びや郷土愛を育むふるさと再発見事業を実施した。	<p><b>【成果】</b> 生涯学習の場として、市民の教養と趣味の向上及び地域住民のコミュニケーションが図られた。</p> <p><b>【課題】</b> 世代に共通の学びを提供していくことが困難になってきているので、世代間の交流を図るための多世代型の講座を創設する必要がある。</p>
②青少年愛護センター運営事業	愛護センターの事業が円滑に活動できるよう運営を図る。	5,344千円 街頭補導、非行防止の啓発、相談教室の開設。160名の補導員による巡回を実施。	<p><b>【成果】</b> 青少年健全育成あわら市民会議の見守り隊活動を含め、地域に根ざした青少年愛護活動が図られた。</p> <p><b>【課題】</b> 今後とも啓発活動等を十分行うことにより、より効果的な事業活動を実施する必要がある。</p>
③成人式事業	当年度満20歳になる新成人で実行委員会を組織し、成人式の内容等を協議し、円滑な式典を開催できるように図る。	1,283千円 準備 新成人5名で実行委員会を組織し、つどいのテーマや内容等を決定。当日 記念式典、つどいを実行委員で進行する。	<p><b>【成果】</b> 新成人としての自覚と郷土愛を持つ式典となった。</p> <p><b>【課題】</b> 成人式のあり方については、さまざまな意見があるが、式典への参加者は多く、今後ともより充実した内容と新成人の参画が求められる。</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
④市民活動(ゆうゆうと輝く市民の会)事業	ゆうゆうと輝く市民の会の活動により、市民運動を実践し、まちづくり活動とそれを担う人材育成を図る。	<p>1,114千円</p> <p>①花いっぱい運動 各区・公共施設に年2回の花苗の配布。年2回の花壇コンクールの実施及び表彰。花壇づくり講習会の実施。</p> <p>②あいさつ運動 4月から11月(毎月15日)に小中学校の登校時に実施。5月・9月は駅(JR・えちぜん鉄道)において実施している。</p> <p>③ふるさとづくり運動 蓮如の里ふるさとの道を歩く会、風谷峠ファミリー登山及びお宝発見ツアーなどを実施している。</p>	<p>【成果】 市民運動が、まちづくり運動を活性化し、郷土愛を育む礎となった。</p> <p>【課題】 市民のより自主的なまちづくり活動に対して積極的に支援する必要がある。</p>
⑤生涯学習推進活動(市民大学、生涯学習推進大会)事業	中央公民館等の会場で、市民を対象に年間5回の講座を開催し、市民の生涯学習の意識高揚を図る。各地区に生涯学習地区推進員を置き、花いっぱい運動等を通して市民への生涯学習の推進を図る。また、生涯学習に携わる市民が一層の活動発展と研鑽を深めるために、生涯学習推進大会を行う。	<p>331千円</p> <p>市民大学：福井ライフ・アカデミーと共催し、講師や内容等について協議し、講演依頼をしている。</p> <p>生涯学習推進大会：時代の流れやライフスタイルの変化に伴い、多様化した住民ニーズに応じて、子どもから高齢者までが自由に学び、生きがいを持って自己実現できる生涯学習社会を促進するため、関係各機関が各種団体と連携を図りながら、普及、啓発を行っている。</p>	<p>【成果】 市民が各種の講演を聴くことによって、知識、教養等を身に付けることができ、生涯学習の推進に資することができた。</p> <p>【課題】 市民が、継続的に学習できる機会の提供・支援が求められる。</p>
⑥放課後子どもプラン推進事業	共働き家庭などの児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を図るために、放課後子どもクラブを開所している。	<p>28,716千円</p> <p>放課後子どもクラブは8ヶ所開所しており、小学校の空き教室、児童館、公民館と社会資源を活用した運営を行っている。</p>	<p>【成果】 施設の充実や人的体制を図りながら運営を行った。</p> <p>【課題】 小学校校区毎に設置するのが基本だが、未設置の校区があることから子ども教室を開催するなど充実を図っていく必要がある。</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評 価 (成果・課題)
<p>⑦文化振興事業 (市民文化祭事業、観月の夕べ実行委員会事務事業、文化協議会事務事業)</p>	<p>文化振興を図るため、活躍の場の提供や環境づくりを行うとともに人々との交流、連携を促進し、より充実した文化・芸術活動の推進を図る。</p>	<p>7,950千円</p> <p><b>【文化協議会】</b> 市は文化協議会に対して委託料、補助金を支払う。文化協議会事務局は、文化学習課が担当する。 総会、常任委員会等の開催、9地区公民館単位でのふれあい祭への助成(1地区15万円)、文化講演会の開催、市民文化祭の開催。</p> <p><b>【観月の夕べ実行委員会】</b> 市は観月の夕べ実行委員会に補助金を支払う。実行委員会事務局は文化学習課が担当する。 実行委員会は、各部会に細分化(野点部会、イベント部会、花火部会、広報宣伝部会、交通安全対策部会、会場設営部会、出店販売部会)し、その企画・運営に当たる。 観月の夕べ内容 野点茶会、選抜芸能祭(10団体参加)、うまいもん市(11店出店)、あかりばやし(灯籠5000個)、花火大会(2,000発)</p>	<p><b>【成果】</b> 近隣市町からの鑑賞客が増え、市のイメージアップが図れた。</p> <p><b>【課題】</b> 地域に根ざした文化活動の推進から観光客を誘客するイベント(観月の夕べ)へと拡大していることから、今後、事業の位置づけの見直しを行う必要がある。</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評 価 (成果・課題)
⑧ 金津創作の森事業	指定管理者契約に基づき管理委託料および事業運営補助金等を支出している。	72,870 千円 ・ 指定管理委託料 64,343 千円 ・ 補助金 8,527 千円	<p><b>【成果】</b> 美術館では、地元油絵作家、人気書道家、アートドキュメント、酒器等の企画展を開催。優れた美術や工芸に触れる機会を設けた。また、教育プログラムを実施し、児童生徒が芸術文化に親しむ機会を設けた。</p> <p><b>【課題】</b> 企画展の周知活動が不可欠なため、広告に力を入れる必要がある。 開館から 13 年目に入り、施設や設備の老朽化が進行しているため、15 周年を前にその補修を要す。 レストラン経営の健全化や入居作家への支援に配慮が必要。 創作工房では陶芸体験者約 3,000 人、陶芸教室生約 160 人の年間利用があるため、それに見合う受け入れ態勢の整備が急務。</p>
⑨ 図書館事業	市民の多様な学習ニーズに応えるため、図書等を充実し、利用者サービスの向上に努め、生涯学習活動を推進する。	6,257 千円 図書等の購入・貸出や閲覧業務を実施した。また、学校等に対して団体貸出や読み聞かせを実施した。	<p><b>【成果】</b> 図書等の購入・貸出や閲覧業務により、利用者の学習ニーズに応えた。また、団体貸出や読み聞かせ等の実施により児童等の読書活動に寄与した。</p> <p><b>【課題】</b> 今後の蔵書の増加に伴い、保管場所の確保が必要となる。</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
⑩ブックスタート事業	子育て支援の一環として、絵本を介して赤ちゃんと保護者が心ふれあうひと時をもつきっかけを作る。	342千円 健康長寿課が行う満6ヶ月児を対象とした「もぐもぐ教室」時を活用し、ボランティアが事業の趣旨を伝えるとともにバックと絵本2冊等を渡し、読み聞かせを行った。	【成果】 健康長寿課との連携により、「もぐもぐ教室」の参加率が向上した。また、乳幼児・保護者の図書館利用につながっている。 【課題】 「もぐもぐ教室」に参加しない対象者への周知の仕方に工夫が必要である。
⑪指定文化財保護管理事業	市内区域に所在する国・県・市指定文化財を保護し、その活用を図る。	2,627千円 ①新指定・登録文化財 ・「吉崎のキンメイチク群」市指定天然記念物 ・「本荘春日神社本殿」県指定建造物 ・「えちぜん鉄道本荘駅本屋」国登録建造物 ②指定文化財の保全管理 ・国指定「吉崎御坊跡」清掃管理委託、枯松処分、テングス病防除 ・県指定「千束一里塚」内エノキの枝剪定 ・市指定「龍沢寺庭園」内池の補修工事補助 ・市指定「旧北陸道」土地借上げ、草刈り	【成果】 新たに市指定・国登録文化財が各1件増加し、1件が県指定に昇格した。また、現地確認を行うことで、文化財の現状を把握し、適切な保護管理を実施した。 【課題】 普段の管理状況に留意して、保存方法を考える必要がある。
⑫埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財を開発者と行政が協調して適切に保存し、その調査研究を行う。	4,829千円 窓口での埋蔵文化財包蔵地の照会対応 ・開発行為に伴う工事立会の実施 ・北金津西部遺跡第2次発掘調査の実施 ・出土遺物整理 桑野遺跡出土遺物整理（緊急雇用創出事業対象） 製鉄遺跡出土品実測・分析遺物実測補足 既出遺物整理	【成果】 事前協議と調整及び現地調査の実施により、埋蔵文化財は適切に保護された。 【課題】 工事立会などで得た成果を迅速に適用し、埋蔵文化財の保護を今後も適切に行う必要がある。 未報告資料整理を促進する必要がある。

### 3 スポーツ課

目標：「生涯スポーツ」の振興

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
①第7回あわ ら市トリムマ ラソン事業	子供から大人まで、市内外 から参加者を募集し、体力 の向上と健康の保持・増進 に努める。	3,775千円 1.5km、2km、3km、5km、10km の5種目21部門に市内外 から参加。あわら市役所を メイン会場にあわら市街 を力走。 恒例の芦原温泉の女将に よるおしぼりのサービス と県柔道整復師会による 無料テーピングを実施し、 10kmでは白バイが先導 し、大会を盛り上げた。	【成果】 1,740組の2,011人がエン トリーし、当日は、1,648 組の1,914人が完走した。 当日は天候にも恵まれ、本 部テントやスタート・ゴール 地点では、応援する家族 等で賑わい、大会が盛り上 がった。 また、1.5km親子（1年 生以下）など5部門におい て新記録が誕生し、各種団 体のボランティアの協力 によりスムーズに大会運 営を行うことができた。 【課題】 金津市街地の道路幅が狭 く、種目によっては、道一 杯に走るようになるため、 スタート時間等について、 再度検討する必要がある。
②カヌーポロ 大会事業	小学生から年配まで、また、 初心者から経験者まで、誰 もが楽しめる大会を開催し、 カヌーに親しむ機会を増やし、 カヌーの普及推進を図る。	1,690千円 ジュニア大会は1日、一般 大会は2日間で開催。 全国各地から参加があり、 カヌーポロ大会としては、 全国一の大会となっている。 また、地元産のこしひかり の米や越のルビーなどを使 った昼食が振舞われ、大会 を盛り上げた。	【成果】 ジュニアの部34チーム、 一般の部44チーム、初心 者の部であるビギナーズ マッチには13チーム、計 91チームの参加があり、 過去最多の参加数とな った。日本代表の選手や台 湾からの参加チームがあ るなど、世界レベルの大 会となり、白熱した試合 が展開された。 また、各チームの交流及 びカヌーの普及推進も 図られた。 【課題】 不参加の市内小学校に 参加を促し、あわら市 の子供たちが全員参加 できるように努める。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
③第7回あわ ら市民体育祭 事業	広く市民に体育・スポーツ を普及し、スポーツ精神を 高揚するとともに健康の 保持・増進を図り、市民相 互の親睦を図る。	1,115千円 市全体を16のブロックに 分け、ブロック対抗で競 技。	【成果】 開会式には各ブロックの 選手が各地区から一堂に 会し、盛大に行われた。午 前の部の競技は順調に行 われたが、午後の部は突風 により中止となった。 しかし、午前の部は市民が 和気藹々のもと、スムーズ に競技が行われ、市民の親 睦・融和が図られた。 【課題】 各地区の体協役員が選手 集めに苦慮しているため、 ブロック割など、検討する 必要がある。
④各種スポー ツ大会事業	5種目のスポーツ大会(ゲ ートボール、ソフトボ ール、グラウンドゴルフ、ソ フトバレーボール、ドッジ ビー)を開催し、各支部に よる対抗戦を行い、市民の 交流を図る。	439千円 体育協会への委託事業。 体育協会加盟支部又はブ ロック対抗によるスポー ツ大会を開催し、スポー ツを通して市民の融和及び 健康増進を図った。	【成果】 今年度から小学生から大 人まで参加できるドッジ ビーの大会を増やし、市民 の交流を図った。又、例年 開催のゲートボールやグ ラウンドゴルフ大会では 若者からお年寄りまで多 世代にわたり参加があり、 世代を越えた交流並びに 健康増進が図られた。 【課題】 全支部が全大会に参加す るよう、各支部長並びに常 任理事に働きかけ、魅力の ある大会になるよう企画 する。
⑤体育協会活 動補助事業	体育協会の活動を補助し、 市民の健康増進及びスポ ーツの振興を図り、競技力 を向上させる。	4,945千円 体育協会加盟団体に育成 費を支給し、市民の健康増 進を図り、競技力の向上・ スポーツの振興を図った。	【成果】 各支部において、地区体育 祭を始め、各種スポーツ大 会を開催し、区民の親睦、 融和が図られた。 また、各競技団体におい ては、主催大会やリーグ戦 を行い、競技力の向上に力 を入れ、スポーツ少年団を指 導するなど、競技スポーツ の振興が図られた。

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評価 (成果・課題)
			<p>なお、加盟団体には、トリムマラソンなど、市主催事業への協力を得ている。</p> <p><b>【課題】</b> 将来、体育協会を法人へと移行できるよう、準備を進める必要がある。</p>
⑥ スポーツ少年団活動補助事業	スポーツ少年団の育成・活動促進を図り、少年の健全育成を推進する。	<p>3,560千円</p> <p>各団に活動補助として育成費及び活動費を支給し、団員の心身ともに健全な発達を促す。</p> <p>また、市内外の交流事業に参加するために要する経費並びに全国大会等に出場する団に対し経費の一部を補助し、他のスポーツ少年団との交流を深めた。</p>	<p><b>【成果】</b> 日頃の練習により、団員相互の親睦も深まり、また、県内外のスポーツ大会に参加することにより、他のチームとの交流を深め、競技力のアップにもつながった。</p> <p><b>【課題】</b> 団によっては、スポーツ少年団の基本理念から外れ、勝利至上主義に走りがちである。今一度見つめ直し、地域に認められるスポーツ少年団に育てる必要がある。</p>
⑦ 体育指導委員会活動事業	あわら市のスポーツ振興及びスポーツ活動の底辺拡大を図る。	<p>1,392千円</p> <p>あわら市のスポーツ振興を図るため、ニュースポーツ教室を開催し、各種スポーツの指導を行い、ニュースポーツの普及に努め、併せて、市民の健康増進を図った。</p> <p>また、市のスポーツ行事に率先して出動し、競技役員のリリーダーとして、大会運営に協力している。</p>	<p><b>【成果】</b> ニュースポーツをPRし、普及に努め、市民の体力の向上、健康増進を図った。また、市のスポーツ行事に主体となって携わり、運営がスムーズに運んだ。</p> <p><b>【課題】</b> スポーツ活動の底辺拡大を図るため、ホームページや市の広報等で広く参加者を募るが、参加者の増加が見込めず、人集めに苦悩している。教室の内容等を再検討するなど、今後は、いかに参加者を増やすかが課題である。</p>

事業名	事業の趣旨	事業内容・実施状況等	評 価 (成果・課題)
⑧ 学校体育館 開放事業	市内の小中学校の体育館を学校教育に支障のない範囲内で開放し、市民の健康、体力づくり及び青少年の健全育成並びに社会体育の振興を図る。	83千円 市内12の学校体育館及び3体育施設を午後7時30分から午後9時30分の間、利用登録した団体に開放する。	<p><b>【成果】</b> 平成22年度の学校体育館開放登録団体は102で、利用登録者数は1,656名となっている。 開放された体育館を利用し、スポーツ愛好家たちが和気藹々のもと、親睦を図りながら、健康づくり・体力づくり、また、競技力の向上が図られた。</p> <p><b>【課題】</b> 利用者の利便を図るため、各利用団体に体育館の鍵(スペア)を渡しているが、安全性も考え、鍵の受け渡し方法を考える必要がある。 また、利用時間を遵守していない団体もあり、巡回等も必要である。</p>
⑩ トリムパーク かなづ維持 管理事業	県の指定管理を受け、施設の適切な維持管理によりコスト削減と市民へのサービス向上を図る。	27,800千円 トリムパークかなづの維持管理。	<p><b>【成果】</b> 施設の清掃及び植栽木の維持管理をそれぞれ委託し、利用者が気持ちよく利用できるよう努め、106,511人の利用者があった。</p> <p><b>【課題】</b> 施設の老朽化が激しく、修繕に経費が嵩むことから、県へ強く要望していきたい。</p>
⑪ 体育施設 維持管理事業	体育施設の適切な維持管理によりコスト削減と市民へのサービス向上を図る。	20,829千円 体育館2、武道館1、グラウンド5、ゲートボール場1、プール1の維持管理。	<p><b>【成果】</b> 金津中学校及び湯のまちグラウンドのナイター照明施設の改修工事を行い、利用者が安全に利用できるように改修した。</p> <p><b>【課題】</b> 施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加している。 利用者が安全に利用できるよう、日頃の点検を徹底する必要がある。</p>